

# 学認(Shibboleth)利用ログインの基本的な流れ

1. Shibbolethログインを選択
2. (JAPAN/日本)→GAKUNIN/学認を選択
3. (関東) AFFRIT/MAFFINを選択
4. ユーザ同意(uApprove)確認画面→同意(情報はクライアント側(Cookie)に格納される。別のブラウザ等からアクセスすると再承認が要求される。)
5. 多要素認証



## 所属機関の選択

サービス「[www.webofknowledge.com](http://www.webofknowledge.com)」を利用するために認証が必要です

AFFRIT/MAFFIN

ブラウザ起動中は自動ログイン  
 選択した所属機関を保存して今後IDの選択画面をスキップする

GakuNinは、学術認証フェデレーションの略です。

**AFFRIT** 農林水産研究情報総合センター  
Agriculture, Forestry and Fisheries Research Information Technology Center

**MAFFIN**  
Molecular Analysis of Food and Nutrition Information Network

あなたがアクセスしようとしているサービス:  
**researchmap** of 科学技術振興機構

サービスによって提供された説明:  
researchmapは研究者の業績情報が研究者自身で簡単に管理できるサイトです。研究ホームページを公開することができ、経歴・研究分野・研究キーワード・論文リスト・講演リストなどを発信することができます

**サービスの利用に必要な情報**

eduPersonPrincipalName	murata@affrc.go.jp
------------------------	--------------------

上記の情報は本サービスにアクセスするために必要です。本サービスにアクセスするため、あなたに関する情報を送信することに同意しますか？

同意方法の選択:

- 次回ログイン時に再度チェックします。
  - 今回は情報を送信することに同意します。
- このサービスに送信した属性が変わった場合は、再度チェックします。
  - 今回と同じ情報を今後も自動的にこのサービスに送信することに同意します。
- 今後はチェックしません。
  - すべての私に関する情報を今後アクセスするすべてのサービスに送信することに同意します。

この設定は、ご利用ブラウザのCookieに保存されます。

(参考)

## 【Shibboleth】

米国EDUCAUSE/Internet2にて2000年に発足したプロジェクトで、SAML、eduPerson等の標準仕様を利用した認証・認可のための標準仕様策定とオープンソース提供を行っている。学術認証フェデレーション「学認：GakuNin」は、技術的にはShibbolethを使用して実現している。  
<http://www.gakunin.jp/fed/>

## 【学術認証フェデレーション】

商用データベースや電子ジャーナル等の利用者・提供者から構成された連合体のこと。フェデレーションが定めた規程を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現させている。認証連携により、契約済みの電子ジャーナルなどのサービスが、大学等の発行したID/パスワードで一元的に利用できるようになる。

## 【uApprove】

ユーザの属性情報の送出手続きについてユーザに承認を得るための機能を実現するもので、SWITCH(スイス)にて開発されたプラグイン。サービスによっては、個人情報が必要となる場合もあるため、あらかじめ利用者の承諾を得る。

※右のクライアント証明書の選択画面は、OSがWindowsの場合の例です。

左から3番目、5番目、8番目の値を求められています。利用カードのパスワードが「wun8pjd5tz」場合、「np5」と入力します。